

第九回

龍門之會

ういづもんのかい

金剛龍謹
能の会

石占

きぬた

会員券 五〇〇〇円
全席自由一般券 六〇〇〇円
学生券 三〇〇〇円

会場

金剛能楽堂

〒602-10912

京都市上京区烏丸通中立売上ル

☎0754417222

<http://kongou-net.com/>

令和3年5月1日 (土)
午後1時半開演

午後12時半開場

お問い合わせは金剛能楽堂まで
公演情報は龍門之会印に掲載しております
<http://www.kongou-net.com/ryumonkai/>



第九回 龍門之会

令和三年五月一日(土) 午後一時半始曲
於 金剛能樂堂

仕舞 橋弁慶

金剛永謹
金剛謹一朝

地謡

湯川 稜
宇高竜成
金剛龍謹
今井克紀
向井弘記

狂言

杭か人か 謡入

野村又三郎

松田高義

後見 藤波 徹

休憩

能 宇高德成
金剛龍謹

砧

江崎欽次朗
松本義昭

間 野村又三郎

山本哲也
大倉源次郎
前川光長
杉 市和

後見 金剛永謹
豊嶋幸洋

地謡

惣明貞助
宇高竜成
豊嶋晃嗣
山田伊純
廣田泰能
今井清隆
松野恭憲
種田道一

午後四時頃終了予定

主催 龍門之会
後援 金剛能樂堂財団

能砧 あらすじ

訴訟のため京の都に三年間滞在していた九州芦屋の某は故郷に残した妻を気がかりに思い、年末には必ず帰ると言伝し侍女の夕霧を遣わした。夕霧が帰郷すると、某の妻は寂しい田舎生活の日々を送っていた。孤閨を守る辛さを夕霧に吐露する妻。やがて秋風に乗って里人が打つ砧の音が聞こえたと、遠く隔たった地にいる夫に妻子の砧を打つ音が届いたという唐土の蘇武の故事を思い出す。寂しげな秋の夜、思いを遠い都の空に馳せ、自身の心を慰めるべく二人は砧を打つ。しかしそのとき、夫はこの年末も帰らないとの報せが入る。失意のあまり妻は病にかかり、そのまま息を引き取ってしまった。その後帰郷して妻の訃報を知った夫が哀れに思つて供養していると、妻の亡霊が現れた。妻は生前の夫の不実を恨んで泣き、地獄に堕ちて妄執の責苦にあえぐ様を訴える。しかし夫の誠実な弔いによって悟りの心を開き成仏するのであった。



金剛龍謹
能楽金剛流若宗家
公益財団法人金剛能樂堂財団 理事
京都市立芸術大学 非常勤講師

プロフィール
1988年、二十六世宗家金剛水謹の長男として京都に生まれる。幼少より、父・金剛永謹、祖父・二世金剛殿に師事。五歳で仕舞「狸々」にて初舞台、これまでに「鶯」「石橋」「翁」「乱」「道成寺」「望月」「安宅」を披く。同志社大学文学部卒業。2012年より自身の演能会「龍門之会」主宰。全国の学校での巡回公演など学生への普及活動、またスペイン、ポルトガル、ロシア、イタリアなど国内だけでなく海外公演にも参加している。
<http://www.kongou-net.com/yumonokai/>

金剛龍謹能の会「龍門之会」入会のご案内
龍門之会にご入会いただきますと、年1回の「龍門之会」のご案内および金剛能樂堂出演の観能会のご案内をさせていただきます。
また、特典として「龍門之会」の子ケットを1枚を進呈させていただきます。
◆年会費 5,000円
◆入会方法 お問い合わせ先へ「龍門之会」の入会の旨とともにお名前、住所、連絡先をお伝えください

金剛能樂堂
〒602-0912
京都市上京区烏丸通中立売上ル
☎075-441-7222
●地下鉄烏丸線「今出川」駅下車
6番出口より南へ徒歩5分
●市バス「烏丸今出川」停留所より南へ徒歩5分
●市バス「烏丸一乗」停留所より南へ徒歩5分
●市バス「烏丸一乗」停留所より南へ徒歩5分
●市バス「烏丸一乗」停留所より南へ徒歩5分
●市バス「烏丸一乗」停留所より南へ徒歩5分

第九回 金剛龍謹能の会 龍門之会 FAXお申し込み書

FAX番号 075-451-1008

お名前 _____ お電話・FAX _____
ご住所 〒 _____

□会員券(1口 5,000円) _____ 枚 □一般券(6,000円) _____ 枚 □学生券(3,000円) _____ 枚

〈お申込み後、観能券を郵送させていただきます。お問い合わせは金剛能樂堂まで〉